

令和3年産

大豆情報 (Vol.3)

令和3年9月7日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612 Fax : 0225-95-2999

技術情報はこちらのQRコードからも！



8月以降の気象経過

◆ 8月中旬は低温・寡照

日平均気温は上旬が平年差+2.4℃と高く、中旬は平年差-3.0℃、下旬は平年差+1.7℃と高くなりました。日照時間は上旬が平年比123%、中旬は平年比57%、下旬は平年比104%で月全体の日照時間は平年に比べてやや少なくなりました。降水量は上旬が平年比74%、中旬が平年比208%、下旬は平年比43%で月全体の降水量は平年に比べてやや少なくなりました。

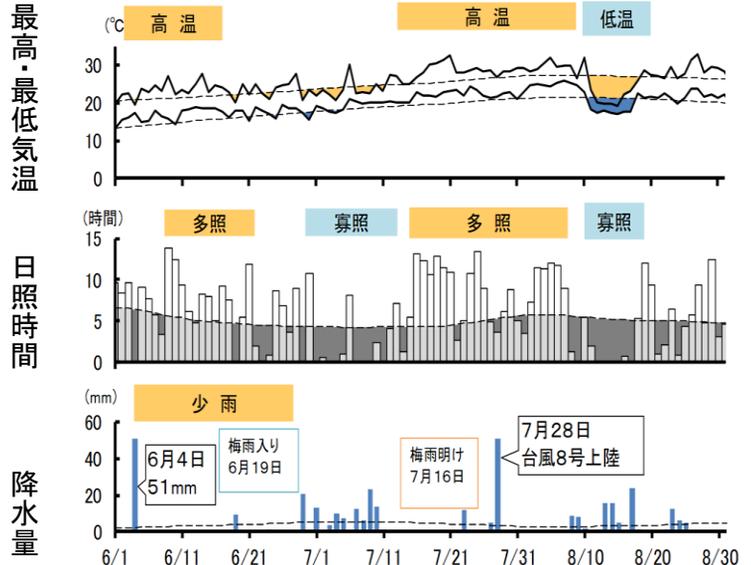


図1 6月以降の気象経過(アメダス石巻)

調査ほの生育状況(9月1~2日)

タンレイ(水沼) 6/10播種



栽植密度 16.6本/m²

ミヤギシロメ(小船越)

6/9播種



栽植密度 12.4本/m²

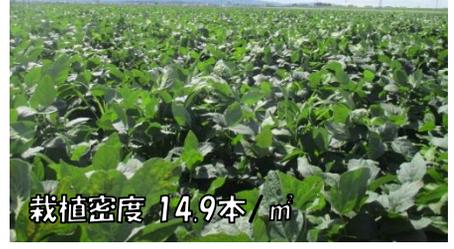
タンレイ(広瀬) 6/11播種



栽植密度 14.9本/m²

ミヤギシロメ(牛田)

6/7播種



栽植密度 14.9本/m²

表1 調査ほの8月11日及び9月1日調査結果

品種 (作型) 地点名(旧市町)	播種日 (月/日)	栽植密度 (本/㎡)	8月11日調査				9月1日調査				
			主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数		主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数		
					(本/本)	(本/㎡)			(本/本)	(本/㎡)	
タンレイ (普通) 広淵(河南)	本年	6/11	14.9	52	12.8	2.2	32.3	54	12.7	2.9	42.8
	前年差・比	+3日	90%	-16	-1.5	+0.2	99%	-17	-2.2	+0.2	97%
	平年差・比	-4日	102%	-1	-0.2	+0.3	120%	-4	-1.2	+0.3	115%
タンレイ (麦あと) 水沼(石巻)	本年	6/10	16.6	81	13.8	3.0	49.1	81	14.0	3.0	50.5
	前年差・比	-3日	101%	+26	+1.4	+0.7	133%	+20	+1.0	+0.3	114%
	平年差・比	-3日	118%	+25	+1.3	+0.5	141%	+18	+0.5	+0.0	119%
タチナガハ (麦あと) 蛇田(石巻)	本年	6/01	12.7	60	14.0	2.1	27.0	60	14.2	3.4	42.9
	前年差・比	-18日	91%	+14	+2.1	+0.0	91%	+4	+1.3	-0.4	81%
	平年差・比	-15日	105%	+13	+1.6	+0.2	122%	+1	+0.3	+1	124%
ミヤギシロメ (普通) 小船越(河北)	本年	6/09	12.4	79	14.1	3.3	40.8	86	15.5	3.6	45.0
	前年差・比	+4日	120%	+17	+0.8	+0.0	121%	+9	+0.5	-1.1	92%
	平年差・比	-13日	128%	+29	+2.4	+0.9	177%	+7	+0.1	-0.1	126%
ミヤギシロメ (麦あと) 牛田(桃生)	本年	6/07	14.9	78	13.2	1.5	23.0	99	16.0	3.4	50.7
	前年差・比	-9日	86%	+11	+1.5	-0.5	65%	-11	+1.2	-0.2	81%
	平年差・比	-15日	122%	+27	+2.1	-0.2	107%	+9	+0.5	-0.2	117%

※1 平年差・比：H28～R2の5か年平均(平年値)との差・比。

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す。

- ◆ 主茎長は広淵タンレイを除いて平年を上回っています。
- ◆ 主茎節数は広淵タンレイを除いて平年並です。
- ◆ 1株当たり分枝数は概ね平年並ですが、栽植密度が平年に比べて高いため、㎡当たり分枝数は平年を上回っています。

今後の管理

◆ 排水対策

- ◎ 今後も、排水溝や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、地表排水の効果を高めるために、枕地のあぜを切って溝を作り、排水溝につなげましょう。

◆ 雑草対策

- ◎ 9月以降多くの雑草が種子をつけ始めるため、イヌホオズキやアレチウリなどの難防除雑草の多いほ場では、早めに除草を行いましょ。
- ◎ タデ類やアメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草は、コンバイン収穫時に汚粒の原因となります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょ。
- ◎ 大豆落葉終期～収穫14日前までは「つり下げノズル」や「万能散布バー」を利用したラウンドアップマックスロード(対象雑草：一年生雑草)による雑草茎葉散布(大豆の茎葉・莢に直接かけないように散布する方法)が可能です。大型雑草は茎や果実の水分が低下しにくく、汚粒の原因となる場合があるので、手取り除草を行いましょ。



タデ類



シロザ



イヌホオズキ

◎ほ場に落ちた種子は湛水(水田)状態でも3年以上は生存するので、ブロックローテーションによる田畑輪換で減少することはありません。種子をつけた雑草は、ほ場外に搬出しましょう。

◆ 病虫害対策

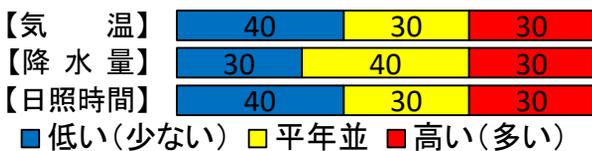
- ◎ ベと病の発生量は「平年並」の予想です。発生が多い場合には、防除を行いましょう。また、ベと病菌はり病植物上で卵胞子を形成して越冬するので、発生の多少に関わらず、大豆の残さを深くすき込んで、次年度以降の発生を抑制しましょう。

東北地方 1か月予報 (9/4~10/3)

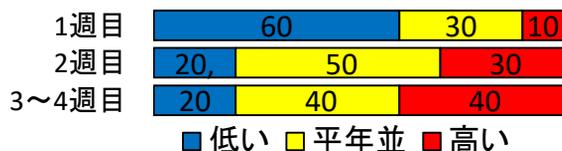
仙台管区气象台 9月2日発表

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

○1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



○週別気温経過の各階級の確率(%)



令和3年9月1日の農薬登録内容を基準に作成しています。農薬散布を行う場合は事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。使用回数は薬剤の使用回数を示しています。農薬使用の際には薬剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。農薬使用に先立ち、ラベルの表示事項を必ず読み、安全使用上の対策等について確認してください。